

令和7年4月2日

市政記者各位

福岡市美術館

2025（令和7）年度の展覧会ラインアップを公開しました

福岡市美術館の2025年度の展覧会ラインアップを公開しましたので、お知らせします。2025年度も充実したラインアップとなっております。

つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

特別展

描かれた「南」 ～日本近代美術の一断章～（仮称）

会期	令和7年10月11日（土）－11月24日（月・休）
会場	2階 特別展示室



荒井寛方《薰風》1919年
さくら市ミュージアム-荒井寛方
記念館-所蔵

明治以降、多くの美術家が陽光きらめく暖かな「南」へ向かいます。美術家たちは、そこで得た新鮮な体験をどのように表現したのでしょうか。描かれた「南」約200点を通して、日本近代美術の知られざる魅力を紹介します。

特別展

ブルックリン博物館所蔵 古代エジプト 掘り起こせ、三千年の謎

会期	令和7年12月13日（土）－令和8年3月8日（日）
会場	2階 特別展示室



《神官ホル（ホルス）の
カルトナージュとミイラ》（部分）
前760～前558年頃
ブルックリン博物館蔵

ブルックリン博物館が所蔵する米国最大規模の古代エジプトコレクションから、えりすぐりの名品群を展観。これまで見過ごされてきた「知っているようで知らない事実」から最新技術を使ったピラミッドの研究結果まで、映像や音声も交えて紹介します。

企画展

浦川大志展（仮称）

会期	令和8年1月6日（火）－3月22日（日）
会場	2階 近現代美術室B
会期	令和8年1月6日（火）－令和10年12月末
会場	2階 近現代美術室 最終壁面



《オープンパノラマ》2024年 ©長野聡史

福岡を拠点にデジタルネイティブの感覚を絵画で表現してきた作家、浦川大志（1994年生まれ）の、近作・新作を紹介します。

また、2階コレクション展示室出口前の大壁面において公開制作を行い、3年間展示します。インターネット以後の世界の「風景」を描くことと向き合ってきた作家は、福岡市美術館の幅13mのパノラマ画面に何を描くでしょうか。

企画展

一杉コレクション展 —魅惑のインドネシア染織—

会期	令和7年12月17日（水）－令和8年3月15日（日）
会場	1階 古美術企画展示室



《人物幾何学文様経緯緋系緯系紋織（グリーンシン）》（部分）インドネシア・バリ島 19世紀

多数の島々からなるインドネシアは、染織の宝庫と呼ばれるほどバリエーション豊かな染織品で知られます。本展では一杉秀樹氏が長年にわたって収集し、2023（令和5）年度に当館へご寄贈いただいたインドネシアの染織品約90点をご紹介します。

コレクション展・教育普及プログラム

美術館ウェブサイトに年間スケジュールを公開しました。下記 URL よりご覧いただけます。

<https://www.fukuoka-art-museum.jp/assets/pdf/fukuokaartmuseum2025.pdf>

共通	開館時間	午前9時30分～午後5時30分 （7月～10月の金・土曜日は午前9時30分～午後8時） ※入館は閉館の30分前まで
	休館日	毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月4日） ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
	観覧料	<コレクション展・企画展>一般200円、高大生150円、中学生以下無料 <特別展>各展示会による

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 （担当：ラワンチャイクン、後藤、忠、宮田）
TEL:092-714-6051